

# みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

10月号 No.226

発行／熊本県農業者政治連盟

JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



緑仙峡（山都町：写真提供 熊本県）

向坂山の北麓を流れている渓谷で緑川の源流です。初夏は、一面の新緑、つりや川遊びなどアウトドアライフで賑わい、秋には寒暖の差が大きいため、新緑の木々が鮮やかな黄や赤に変化する人気スポットです。

## 主な内容

- ・ 農業経営危機突破に向けて、JA グループ一丸と  
なつて
- ・ JA かみましき青壮年部活動
- ・ ガンバッテいます：有瀬英憲さん、稲田由美さん
- ・ 各連合会からのお知らせ

## やまから

延長十二回裏、山崎武志（楽天）の放った打球は無常にもレフト前に落ち、走者がホームに駆け込み、ソフトバンクは敗戦。そして王監督最後の試合であったソフトバンクの最下位が確定し、あまりにも無残な幕切れであった。

このとき王監督は「勝負師として悔しい」と目に涙をためて、「二ホームを脱いだらいい」。

王監督は、選手時代から特別な存在であった。一九五六年、早稲田実業高校から巨人に入団し、長島選手とともにON時代を築き、少年時代の我々を熱狂させた。当時「巨人、大鵬、卵焼き」は、我々のあこがれであった。

現役時代は、独特な「一本足打法」でホームランを量産し、ファンを魅了した。ホームラン王は、十三年連続を含む一五回獲得、そして二回の三冠王。更に、ホームランの通算八六八本は世界記録。これらの輝かしい記録は、当分破られそうにない。

そして、八四年から巨人監督、その後九五年にダイエー（現ソフトバンク）の監督に就任、現在に至っていた。

しかし、監督時代は順風満帆とは行かなかった。万年Bクラスだったダイエー監督への就任当時、連敗続きに逆上した心無いファンらに、生卵をぶつけられたりした。

しかしこうした中、選手、コーチの精神面の強化を図るとともに、若い選手を積極的に育成してきた。

王監督は退任後、球団最高顧問会長に就任し、今後の戦力補強などチーム編成に携わっていくという。そして後任監督には、熊本県出身の秋山幸二コーチに決定した。

「移籍してきた時から好きなチーム。好きなチームを何とかしたい。」と決意を語っている。

また常勝軍団の復活を図ってやることを大いに期待したい。来シーズンから楽しみである。

# 農業経営危機突破に向けて、

## JAグループ一丸となつて

重油・飼料・肥料等生産資材急騰による農業経営危機に対処するため、「熊本県JAグループ農業経営危機突破対策本部」を立ち上げて協議を重ね、JAグループとしての対策を取りまとめた。

重油・飼料・肥料等生産資材が高騰する中、生産者は、様々な自助努力を行い、コスト低減等に取り組まれているが、その努力も限界に達しており、極めて厳しい経営を強いられている。また、各JAならびに各連合会は、様々な対策を講じてはいるが、抜本的な改善には至っていない。

よつて、本農業経営危機突破対策本部では、この危機的状況を打開すべく、JAグループが一致団結し取り組むべき事項として、次の対策を取りまとめた。

### 《対策の概要》

#### (1) 緊急対策としての国・県へ要請する事項

生産資材等の急騰はもはや生産者の努力の限界を超えており、あらゆる機会・手段を通じて、JAグループ一丸となり、以下の点を中心に国・県等へ要請を行う。

##### ■ 共通

○生産コストに着目した経営安定対策の確立

現状の危機を打開するため、生産コストに着目した再生産価格補償制度の

創設等、経営安定に資する対策を要望する。

○省エネ・低コスト生産に向けた支援対策の充実・強化

将来に渡り、農業経営を継続していくためには、省エネ・低コスト生産の取り組みと飼料自給率の向上等が不可欠である。そのため、機器・設備導入等への支援を要望する。

○緊急運転資金等の創設

現在、生産者は、当面の農業経営を継続するための運転資金の確保が困難な状況にある。そのため、無利息運転資金の創設および既往制度資金の貸出条件緩和を要望する。

■ 畜農用油

○畜農用A重油価格補てん制度の創設

A重油の購入価格が保証基準価格を上回った場合、その差額の一定割合を価格補てんする制度の創設を要望する。

■ 畜産酪農

○所得補償方式経営安定対策の全畜種への適用拡大と内容充実

直近の生産コストの上昇分を反映する、適正な保証基準価格の設定等内容

の充実を要望する。

○配合飼料価格安定基金制度の財源確保  
安定的な運用に向けた財源の確保と、既往借入金返済において、生産者負担を可能な限り抑える対策を要望する。

#### (2) 省エネ対策

重油の高騰に伴い、県・JAグループ・生産者が一体となり以下の対策に取り組む、施設園芸農家の経営安定に向け、省エネ対策を推進する。

■ 畜農用油（園芸・果樹）

○多層カーテン等による暖房負荷抑制  
被覆資材を多層化し、保温性を高めることによる暖房負荷の抑制を徹底する。

○ヒートポンプ等省エネ暖房方式の導入

新たな省エネ暖房方式の導入による効率的エネルギー利用を推進する。初期投資が必要なため、補助事業等を活用した導入を促進する。

○省エネ管理の徹底による生産性向上対策

暖房機の点検・清掃等を基本とし、循環扇・多段サーモ等の活用による省エネ管理を徹底する。

#### (3) コスト低減対策

現在、個々の生産者によるコスト低減の取り組み、JA、各連合会及び行政等による支援が行われているが、その効果を最大限発揮するためには、地域を核としながら、県全体での取り組みとして発展・展開させていくことが

必要不可欠である。そのため、以下の取り組みを着実に実践し、安定した経営が継続できる農業経営基盤の確立を推進する。

■ 肥料

○土壌診断に基づく適正施肥の推進

県全体で、「要らない肥料は使わない」という取り組みを推進する必要がある。その基礎として、再度、県と一体となり土壌診断を徹底する。

○施肥効率の高い肥料の利用や局所施肥の導入による減肥の推進

肥効調節型肥料の利用や局所施肥の導入による効率的な施肥を推進し、肥料の削減を行う。

○新オリジナル低コスト肥料（低成分肥料）の活用

現在、「施肥コスト低減対策研究会」を立ち上げ、新オリジナル低コスト肥料（低成分肥料）が開発されているので、その利用を促進する。

○肥料担い手満車直行の利用

現在、経済連において、担い手満車直行要領を制定し、肥料満車直行輸送による生産資材コストの低減に取り組んでおり、その活用を促進する。

■ 農薬

○低コスト農薬の活用

大型規格品やジェネリック薬品等の利用を促進する。

○効率的な防除技術の導入

発生予察情報に基づく早期発見・適期防除、高濃度少量散布等を推進する。

■ 生産資材



### ○低コスト資材の活用

低コスト段ボール・被覆資材等の活用、規格の統一化などを進め、コスト低減に取り組む。

### ■農業機械

### ○低価格農機等の活用

ヘルプ農機やJA独自型式農機の活用促進。

また、各リー入事業を通し経営規模拡大、経営の多角化に貢献し有利な資金と支払方法の選択肢を広げる。

### ■飼料

### ○集落営農組織、コントラクター組織を核とした低コスト自給飼料増産・確保

個々の生産者による自給飼料増産・確保の取組みには、限界があるため、集落農産組織、コントラクターの組織化を支援し、県全体で、組織を核とした取組みを推進する。

### ○稲わら等の活用促進、広域流通の展開

現在、すき込み、焼却等処分されている稲わら等を、飼料として活用する取組みを県下一体となって促進する。また、広域流通の手段を構築する。

### ○エコフィードの活用促進

個々の生産者による取組みは、実施されているが、県など関係団体と連携し組織的な取組みを推進する。

### ○放牧マニユアルに沿った生産拡大

放牧の推進は、低コスト生産に非常に有効な手段である。マニユアルに沿った放牧の実施を強力に推進し、地域資源の有効活用によるコスト低減に

取り組む。

### ○低コスト飼料開発・普及

配合飼料など、一層の低コスト飼料の開発を行うとともに、普及を推進する。

### (4)流通・販売対策

原料価格の高騰等の情勢や生産者の生産性向上の取り組み等について、消費者及び流通業者に認識・理解を共有してもらうことが、最も重要である。このことは、各地域での活動はもとより、県全体、さらには全国運動として展開していく必要がある。

同時に、地産地消の取り組みを基本としながら、新たな販売先の開拓、及び差別化商品の開発等を積極的に行うとともに、流通コスト削減策等の実践により、生産者手取りの最大化に取り組む。

### ■共通

### ○消費者理解運動の展開

JA全中を中心とした「やつぱり国産農畜産物推進運動」が展開されている。また、各地区で様々な街頭活動等も行われている。これらの取組みに呼応して実施するとともに、マスコミ等も活用したより効果的なPR活動を実施する。

### ○大消費地への販売促進活動の展開

本県の農畜産物は、大消費地での消費に依存せざるをえない状況にある。そこで、これまで以上に販売促進活動に力を入れるとともに、県下一体となった効果的な活動を展開する。

### ○地産地消及び直販事業の拡大

地産地消・直販等を進めることにより、中間流通コストの削減に取り組む。

### ○海外輸出促進

新しい市場として、海外に目を向けた事業展開を強化する。

### ■園芸・果樹

### ○青果物コントロールセンターの機能強化

青果物コントロールセンターへの全JA常駐による分荷・調整の一元化により安定販売・物流コストの削減等を実現する。

### ○JA間積み合わせ等による物流コストの低減

JRコンテナ活用、JA間積み合わせ等により流通コストの低減に取り組む。

### ■畜産酪農

### ○差別化商品の開発と販売促進

生産基準を明確にした差別化商品の開発により、付加価値を付けた販売を実現し、販売価格の引き上げに取り組む。

### ○JAグループ直営店の設置

アンテナショップ等直営店を設置することにより、熊本県産の畜産物のPR拠点としての役割発揮を目指す。

### (5)生産技術対策

生産コストの上昇に伴い、生産者、JAグループ、県等が一体となり、経営・技術指導の徹底を図ることにより、生産性の向上に取り組む。

### ■共通

### ○個別農家経営分析の実施

経営試算シート（県農業技術課で開発）等のツールを活用し、詳細な経営分析を行い、経営改善目標を立てた実践を誘導する。

また、原油・飼料価格等に基づく農家別採算ラインの設定により、以下の対策を誘導する。

### ■園芸・果樹

### ○経営規模に応じた作型・栽培方法の見直し

厳寒期を避ける等、経営実態・規模に応じた作型・栽培方法の見直しに取り組む。

### ○少加温型品目の選定

少加温品目への切り替えによる経営改善に取り組む。

例：アールスメロカボチャ（野菜）  
トルコギキョウ・キンギョソウ（花卉）

### ○無加温栽培品目の選定

無加温長期出荷型品目への転換による経営改善に取り組む。

例：アスパラガス・ニガウリ

### ○作付体系の改善

加温期の変更等作付体系を変更することにより、燃料削減に取り組む。

### ■畜産酪農

### ○事故率の低下、分娩回転率の向上

生産現場において、飼養管理の在り方を再度点検・検証し、最大限効率的な生産を目指すことが重要である。そのため、県全体で「畜舎環境改善運動」を展開し、飼養管理の徹底による事故率低下・分娩回転率向上等、生産性向上に取り組む。



# JAかみましき 青壮年部活動

JAかみましき青壮年部（部長：藤木眞也）6支部、盟友304名は、地域農業の担い手として、また地域リーダーとなるべく活動し、日本農業の大切さを消費者や次世代を担う子供たちへ伝える運動を展開しています。農政活動として、担い手対策勉強会やWTO農業交渉学習会など農業政策の知識向上にも努めています。

また、食育の一環として、小学校の学習田における水稻生育調査など農業体験学習に協力し、地域農業の状況や食生活、食べ物の大切さを管内の子ども達に伝える活動を行っています。さらに、地域との親睦を深め農業に対する理解を得るべく、八朔祭り・文楽里祭り・JA祭等に積極的に参加し、各支部が地域に根ざした活動を行っています。

## 青壮年親善スポーツ大会

青壮年部ビーチバレー大会



毎年夏になると青壮年部員・JA役職員の親善ビーチバレー大会を開催しています。本年も8月30日に益城町総合体育館で20チーム参加により開催し、熱戦を繰り広げました。青壮年部員・役職員の親善ができました。



## 新鮮野菜がいっぱいです

青壮年部、野菜即売会

とれたて市場嘉島店で七月五日と六日の両日、矢部青壮年部と清和青壮年部が合同で、野菜即売会を開きました。

地元で取れた農産物を地元で消費しようとする「地産地消」の一環で、年数回の予定で開催を企画。今回はトマトやキャベツ、キュウリ、ピーマンなど朝摘みの新鮮な野菜を、100円均一で販売しました。

参加した部員は、「地元で生産、消費することで燃料などのコスト面でも違いが出る。なにより新鮮で安全な野菜を家庭に届けることができるのがいい」と話していました。



## 活発に意見交換

役員と青壮年部・女性部との対話集会



当JAは毎年、JA役員（常勤・地区担当理事）と青壮年部・女性部との対話集会を開いています。

梅田穰組合長は「皆様のJAに対する貴重な意見をいただくと共に、今後のJA事業に反映させていきたい」と挨拶しました。

対話集会では、経営安定対策のJAの方針や五年後、十年後のビジョンについてなど、予定時間を延長するほど活発に質疑と意見交換を行っております。

平成十九年より青壮年部組織代表理事を選出し、JA経営者の1人として活躍しています。



青壮年部各支部による小学校学習田での田植の様子（各支部による小学校の食農教育の一環として取り組んでいます）

有瀬 英憲さん

JAくま



●有機農業に興味

人吉市は、球磨川、人吉温泉、特産品では、球磨焼酎、鮎などが有名。

有瀬さんは、昭和四四年二月生まれ。有機農業に関心があったことから、東京農工大、大学院へと進みました。そこで、稲作を中心とした減農薬栽培について多くを学び、特に、田んぼに葉食う虫の調査・研究に没頭しました。

現在、両親とともに、栗園三〇〇a、イチゴ二〇a、たけのこ五〇a、水稲六〇aを栽培しています。

●栗園の手入れ

人吉地方は、盆地で昼夜の寒暖の差があり、粘土質の赤土なので栗の栽培に適しています。有瀬さんの家のまわりは栗園で、あたり一面見事なクリが美っています。

今、栗の収穫時期です。栗はその場で、イガを剥ぎ選別して、JAくまの野菜集出荷所へへ

ま栗として出荷しています。

この収穫が終わると、来シーズンに向けて栗の木の剪定作業を始めます。

痛んだクリの木に登り、枯れた枝を切ったり、切り口が腐らないように薬を塗ったりと大忙しです。

土壌管理も大事なことから、肥料は有機肥料を使い、下草刈にも精を出します。

●台風への思い

農業を始めて、一番に思い出すことは、平成七年の台風です。

栗が実り、収穫の時期の九月、台風12号が接近、栗の実は落ちるし、枝葉が折れるなど、大きな被害をつけたことを思い出します。

現在、台風13号が発生、鹿児島方面に接近。うちようと栗の収穫時期で、台風が逸れてくれたらいいが」と取材中、心配そうに話をしてくれました。

その後の話で、「台風の被害は、小さかった」ということを聞き、安堵しました。

●青壮年部の活動

JAくま青壮年部人吉支部長をしている有瀬さんは、話す。

「今年は、新たな試みとして、女性部と合同で消費者三〇名を募集、八aの畑に大豆の種を手作業で撒きました。十一月頃には収穫の予定。自分たちが育てた大豆で、味噌つくりを体験するイベントを企画しています。地域の人々が集まり一緒に作業、食することでお互いのつながりを深め、足元から地域特性を生かした『伝統と文化』を広げる一歩にしていきたい。」

稲田 由美さん

JAやつしろフレッシュミズ



▲イチゴハウスの前にて

稲田さんは、イチ草の産地である八代の出身。地元を卒業後、JAやつしろへ就職。その間に現在のご主人と知り合い、結婚しました。

長女の出生を機に退職。その後、三人の子供に恵まれ、子育てしながらご両親の農業を手伝っています。

●イチ草からイチゴへ

稲田さん宅では、両親と中心となってもち米を一四〇a、イチゴを四十五a栽培しています。もともとはイチ草を栽培していたが、八年前からイチゴに切り換え、今に至っています。

「イチゴはデリケートでとても難しい。天気、気温に左右されて毎年が一年生みたいです。昨年はあまり出来がよくなかったため、今年はよく手入れして、色・形・味が整ったイチゴを作りたいとのことでした。」

今年のイチゴはまだ植え付けしたばかり。台風の際は無事乗り越えましたが、まだまだ油断は出来ないうつです。

●フレッシュミズでの活動

稲田さんが所属するフレッシュミズは現在二十三名の会員で活動をしています。活動は農繁期、農閑期を考えて、行っています。しかし、部員が栽培している作物はそれぞれ違い、当然その時期にもズレがあるので、なるべく部員が揃う時期に活動しているそうです。

毎年行う活動は、親睦会、部員交歓会、ミニバレー大会、研修旅行、テーブルマナー講習会、地元祭りへの参加など、ほぼ月一回のペースで行われています。

また年一回行われる、舞夢フォーラムに参加。そこで発表された他の部会の活動を参考に、自分達の活動に取り入れたいと思っています。

●今後の期待と抱負

稲田さんは、今後の抱負として、「会員数を増やして、色々な人とたくさん話して、子育て、仕事、家族の事など気軽に相談でき、楽しく活動し、毎日の仕事の励みになります。いいと思えます。」と話されました。



▲女性部・部員交歓会にて



食料自給率向上や価格転嫁等を訴える

「街宣活動スタート」

食の安全性が問われている中、消費者に今こそ安心安全な県産物と我が国の食料自給率の向上、農畜産物への価格転嫁等をアピールしようと、JAグループ熊本は「食料・農業に対する理解促進」（よい食プロジェクト）街宣活動を本格的にスタートしました。まず9月20日、JA中央会・連合会・専門連の職員40人が熊本市内の繁華街で街宣活動を展開しました。

この街宣活動は、今年12月まで月2回合計6回を予定しています。その内、1回は熊日びぶれず広場で農畜産物即売会とゲーム大会等を実施する他、2回は、福岡市繁華街を計画しています。また10月の一か月間、中央会連合会中堅職員による街頭での辻立ち演説がスタートしました。

約80人が参加し、午前8時から9時まで、主張します。

初日の6日には担当職員4人が、熊本市水道町交差点で、通勤途中の人たちに食料と農業等について、一生懸命に訴えていました。



▲「街宣活動」と「辻立ち演説」する連合会等職員

第62回全国お茶まつり

熊本大会

「癒しのひととき ちよつと一服くまもと茶」をテーマに、第62回全国お茶まつり熊本大会が3～5日の3日間、益城町のグランメッセ熊本で開催されました。3日には、8月に行われた全国茶品評会審査会に19都府県から9部門で出品された1,131点の入札販売会を行い、全国から参加したおよそ200社の茶商が入札しました。4日には、品評会の各部門受賞者・産地、茶業功績者らの褒章授与式を行いました。また、茶業振興に向け、①世界に向けた日本茶の普及啓発・茶文化の向上と情報発信 ②環境に配慮した茶産業の推進 ③安全・安心な国産茶の生産・流通、消費者ニーズに対応したシステムの推進 ④次代を担うものに夢のある産業としての確立に全力で



入札販売会：茶の香り確かめる茶商



▲グランメッセ熊本でお茶まつり大会を開催

傾注一などの大会宣言を採択しました。5日には、品評会が入賞した茶を来場者に振る舞い、リーフ茶の魅力アピールしました。全国お茶まつりで、入賞茶を実際に飲める機会を作ったのは今回が初めて。品評会に入賞した熊本県産の茶の中から、煎茶・釜炒り茶・玉緑茶の3種類、200人分を用意しました。来場者は、日本茶インストラクターの資格をもつ生産者から、お茶の栽培や製茶方法を教わりながら味わいました。

県内の農林水産大臣賞、産地賞（第1位）の受賞者は次のとおり。

- ▽農林水産大臣賞 普通煎茶4\*の部
  - 相良村銘茶研究会（有）サンティー川上誠一（相良村）・蒸し製玉緑茶の部
  - 岳間製茶 中満房夫（山鹿市）・釜炒り製玉緑茶の部
  - 清水製茶 清水国義（天草市）
- ▽産地賞（第1位） 普通煎茶4\*の部
  - 相良村・蒸し製玉緑茶の部
  - 山鹿市・釜炒り製玉緑茶の部
  - 天草市



J A定期積金

# 「夢咲小町」ドリームキャン

ペーン2008  
平成20年9月1日(月)～11月28日(金)

熊本県内JAでは、9月1日(月)～11月28日(金)まで「夢咲小町」ドリームキャンペーン2008を実施しています。

今年もWチャンスプレゼントとして、JAの定期積金「夢咲小町」を新規にご契約いただいた方、既にご契約いただいている方に抽選券を1枚進呈。抽選で「A賞」：選べる日帰り温泉(昼食・温泉付)ペア招待券(8千円相当)を53組に、また、もれた方の中から「B賞」：JA商品券もしくは三

## Wチャンスキャンペーン賞品

(現金との引き換えはできません)

- A賞** 選べる日帰り温泉(昼食・温泉付)ペア招待券(8千円相当) 53組
- 阿蘇内牧温泉 「阿蘇プラザホテル」
  - 天草松島温泉 「松島観光ホテル岬亭」
  - 人吉温泉 「清流山水花あゆの里」
  - 山鹿温泉 「富士ホテル」
  - 玉名温泉 「司ロイヤルホテル」
- \*ご利用期間は平成21年1～3月です。

**B賞** JA商品券もしくは三菱UFJニコスギフトカード(3千円相当) 475名様

### 夢咲小町

「夢咲小町」は女性のための定期積金です。定期積金「夢咲小町」をご契約いただくと、その時から「小町倶楽部」の会員となり、嬉しい特典や楽しいイベントであなたの毎日をサポートします。

- ★ご契約期間 2年以上
- ★満期受取額 30万円以上
- ★特典 1. 加盟店で会員カードを提示すれば特典が!
- 2. 会員限定イベントへの参加申込ができる!(お申込JAによって異なります。)

菱UFJニコスギフトカード(3千円相当)「お申込JAによって異なります。」を475名様にプレゼントします!!(抽選日(12月5日(金))時点で中途解約をされている場合は、抽選券が失効します。当選発表日:12月12日(金))

また、既にご契約いただいている方のご紹介により、お友達やご家族、お知り合いの方が「夢咲小町」をご契約いただけますと、ご紹介いただいた方(既にご契約いただいている方)、ご契約いただいた方へそれぞれ抽選券をさらに1枚進呈。当選のチャンスがぐっとアップします。

是非この機会に「夢咲小町」をご利用ください。

詳しくは、お近くのJA窓口へお尋ねください。



安心がムダなくそろってる

## 家庭用自動車共済 「クルママスター」新登場!

10月から新しく家庭用自動車共済「クルママスター」が発売されました。

対人・対物など相手方への保障はもちろん、ご自身・ご家族の保障、ご自分のお車の保障など、まさかの時に必要な保障を「ムリ・ムダ・ムラ」なくカバーする個人向けの最適な保障です。

また、外出先での自動車事故や故障など、トラブル発生時に頼りになる充実のサービスをご用意。フリーダイヤルで、24時間・365日の事故受付とアドバイス。まさかの時も安心です。

そのほか、JA共済オリジナルの「自

**1 ご自身・ご家族の保障 (傷害保障)**

自動車事故により、ご自身やご家族がケガをされたときを保障します!

人身傷害	搭乗者傷害
歩行中等自動車事故傷害	介護・自立支援費用

過失割合にかかわらず共済金をまとめてお支払い。ご自身やご家族に大きな安心を提供!

**2 相手の保障 (対人・対物保障)**

自動車事故により、相手にケガをさせたり、他人の車や物を破損してしまったときを保障します!

対人賠償(無制限)	対物賠償(無制限)
対物超過修理費用保障特約	

無制限保障で相手方に対する保障も充実。対物超過修理費用保障特約でさらに安心!

**3 お車の保障 (車両保障・車両諸費用)**

自動車事故でお車が破損したり、盗難や災害に遭ったときを保障します!

車両保障(全損害担保)	車両諸費用保障特約
-------------	-----------

お車のリスクを幅広くカバー。付随的に発生する諸費用も保障!

- 安心のサービス 外出先での自動車事故や故障など、トラブル発生時に頼りになるサービスをご用意
- ・24時間365日、フリーダイヤルで事故受付とアドバイス
  - ・損害調査スタッフ約5,900人、事故相談窓口約1,140か所の安心ネットワーク(H20.4.1現在)
- 賠償セット割引や、「ロード免許用掛金」など、ご契約条件に応じてさまざまな掛金割引をご用意しています。詳しくは、お近くのJAへお問合せください。
- ①夜間休日現場急行サービス
  - ②夜間休日初期対応サービス
  - ③休日契約者面談サービス
  - ④レッカーサービス
  - ⑤ロードサービス





# あじがわ

● 秋のこの時期、街角から心地よく香るのは、キンモクセイ。自動車の排ガス(環境汚染)に弱いことから環境に気を配りたいものですね。



## 十月に咲く花【金木犀】

キンモクセイの名は、幹肌が皮膚の堅いサイに似ており、オレンジ系の小さな花が多数、強い芳香を漂わせることに由来します。

日本では、雄株だけですが、中国では雌株があるので美がなります。芳香剤、お茶、お酒に使われます。

世界の美女、楊貴妃は、白ワインをベースに、キンモクセイの花を加え三年間熟成、さわやかな香りと柔らかな味わいの「桂花陳酒」を好んで飲んだと云います。

(花ことは) 想うはあなた一人  
モクセイ科/常緑小高木/中国南部

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部(JA本・支所)へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

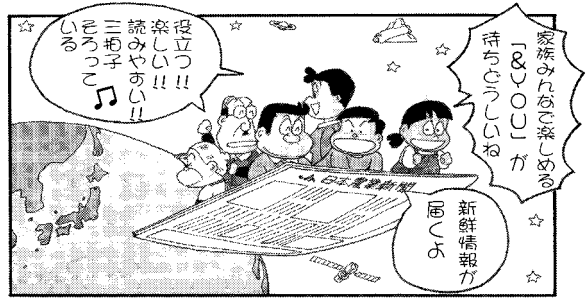
電話 096-328-11284  
FAX 096-326-5807

## 食と農 ひらく未来へ確かな目



「食と農のかけ橋」面を創設

食のニーズ、消費者の声を正しくとらえて産地へ価値ある情報を発信します。月曜日から金曜日まで終面カラーで届けます。



紙面を刷新▶情報を素早く分かりやすく

役立つ情報を毎日▶農産物市況予測を充実、農業の実用記事を満載、気象見通しを強化

JAグループ  
**日本農業新聞**

購読のお申し込みはJAへ 定価1か月2,550円

JA熊本中央会

comachi

# 華

ただ、ひた向きに、思い描く未来のために。JAの定期積金「夢咲小町」は、夢を追う女性をサポートするための女性限定レディスプランです。福岡・大分・佐賀・熊本・沖縄の各県でご用意した様々なオリジナル特典で、自分の夢のために頑張るあなたを応援します。

Illustration: 鶴田一郎

## 自動車保障の新スタンダード

安心がそろってる。ムダなくそろってる。

家庭用自動車共済

# フルマスター

★★★★

新登場

ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。  
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

eサービス

自動車共済のお見積りサービス実施中!  
<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>

みんなにサンキューキャンペーン実施中!  
<http://www.3qja.jp>

08481050411

## JAふれあい食材 いつもありがとう! キャンペーン

1番 包丁セット

16名様

2番 和王 霜ロースきき用550g

45名様

3番 お赤飯 70粒×4個

93名様

参加賞

冷凍保存パック 5枚入×2

1等、2等、3等以外の応募者全員

**応募方法**  
 総和中、応募用紙に食材に関する意見等、JA名氏名、住所、電話番号等をご記入の上保管箱に入れお送りください。  
**応募締切**  
 2008年11月28日(金)  
**抽選発表**  
 真正な抽選のうえ、1等、2等、参加賞はJA職員または、ふれあいさんより、2等は常務等に当選者が選ばれます。ご記入いただきました住所、氏名などの個人情報につきましては、当キャンペーンの抽選のみに使用します。

※当キャンペーンにつきましては、JAふれあい食材加入の会員様に限りさせていただきます

JA熊本経済連